

札幌市交通局の バリアフリーの取組について

令和2年12月10日開催
共生社会におけるトイレの環境整備に関する
調査研究検討会資料から抜粋

事業者の取組内容と整備事例

主な取組内容

札幌市交通局

トイレ整備に関する方針等

- 札幌市交通事業経営計画における一般トイレの洋式化整備計画により、**2020年～2036年にかけて全49駅のトイレ改修を計画**
- 全トイレの洋式化と温水洗浄便座等の設置による衛生面の向上、バリアフリー機能の充実と設備の機能分散を計画（全ての便房にベビーチェアを設置、おむつ交換台の設置、一般トイレの便房内にスペースがある場合はオストメイト用設備を設置、設計段階で可能と判断された場合は出入口の段差解消と車椅子利用者用簡易型便房を設置 等）
- 移動等円滑化整備ガイドラインを参考に、バリアフリーについては可能な範囲で最大限の対応方法を検討
- 「地下鉄駅トイレ改修事業における整備基準」を定め、その中で機能分散についても言及



一般トイレの車椅子利用者用簡易型便房
(オストメイト用設備も設置)

トイレの整備及び機能分散の状況

- 既存改修のため、車椅子利用者用便房等（多機能トイレ）の広さは駅により異なるが、**スペースが確保できる場合は大型ベッドを設置**しているほか、**介助者に配慮するためカーテンも設置**
- 車椅子利用者用簡易型便房にはオストメイト用設備（設置が可能な場合）、ベビーチェアを設置
- 視覚障害者対応として、**トイレ出入口に音声案内を設置**しているほか、トイレ出入口までの視覚障害者誘導用ブロックの敷設、トイレ内の配置と設備を案内する触知図を設置
- 一般トイレの各便房にはベビーチェアを設置しているほか、洗面台付近にはおむつ交換台も設置
- 設計時にトイレ出入口段差の解消が可能か検討（配管の関係でトイレが通路より高くなっているため、スロープを設置することで対応）

その他

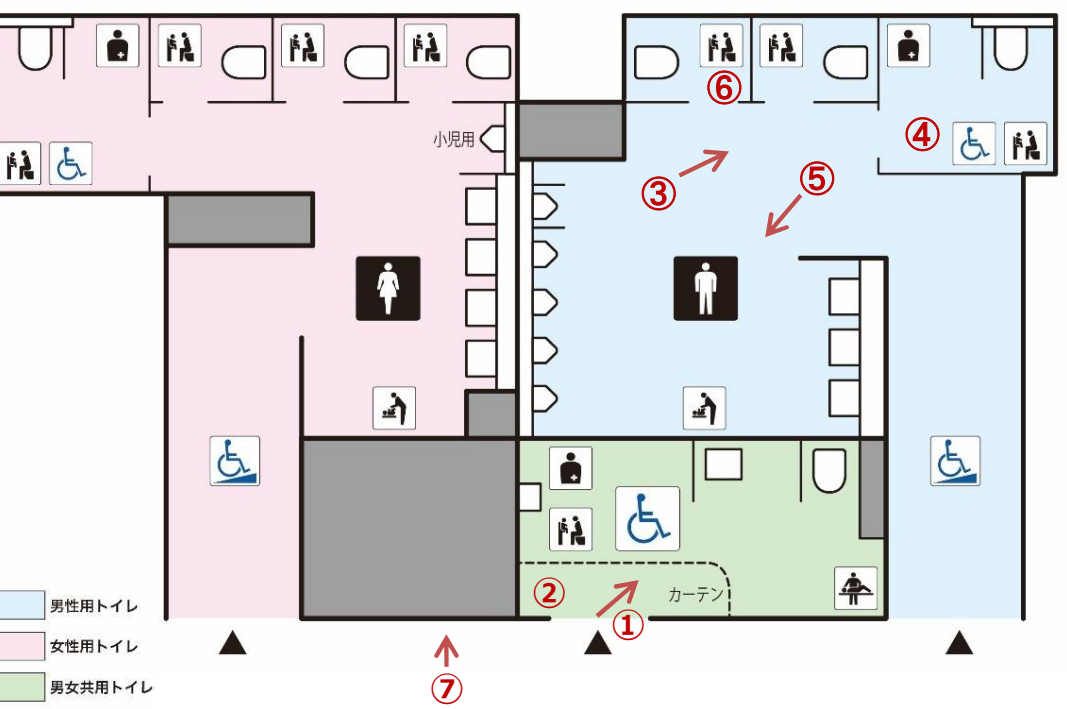
- トイレは改札外に設置（地下通路は夜間閉鎖されるため、トイレは営業時間内のみ利用可能）
- 全洋式便座には温水洗浄便座及び便座クリーナーを設置（便座の蓋は衛生及びいたずら防止の観点から未設置）

事業者の取組内容と整備事例

整備事例

南北線／東西線／東豊線 大通駅

大通駅の便房配置及び機能の設置



③一般トイレ内の便房配置（男性トイレ）



④一般トイレ内車椅子使用者用簡易型便房（オストメイト対応）



⑤男性トイレ内の小便器とおむつ交換台



⑥一般トイレ内のベビーチェアが設置された便房



①車椅子使用者用便房等内の配置



②車椅子使用者用便房等の扉開閉ボタンの注意表記



⑦スロープが設置されたトイレ出入口



⑧通路側にスロープがせり出している例（写真はさっぽろ駅のもの）